



彼は真先に進んで、真先に戦死した。彼の墓は、フランスの当時の最前線アルバートに他の英軍人とともにある。彼の墓には花がたえぬといふという。

友人たちは、その金で彼の設計によるリッパンスカウト・ハウスを作り、これを名づけてロンドン・ハウスと呼び、次々と子供らを教育して、リッパン人物が生まれた。ロンドン・ハウスには、彼の用いていたものがいまでも陳列されている。彼が涙とともに子供を訓戒した涙の跡のついた机もある。

一九六三年、ギリシャにおける世界チャンボリーに、久留島秀三郎を派遣団長として、百三十五人の日本スカウトをつれて参加した帰途、英国に立ち寄り、このロンドン・ハウスに連れていった。私もこの話を聞いて、彼と話をしてやっただ。日本少年も感激したので、彼の話を聞いてやっただ。日本少年も感激したので、彼の話を聞いてやっただ。日本少年も感激したので、彼の話を聞いてやっただ。

(昭和四十三年毎日新聞掲載、  
 総長の遺稿、スカウト十話より)

# 今月のうた

## 夏の思い出

夏がくれば思い出す  
 霧の中に浮びくろ  
 水芭蕉の花がささいい影  
 夢みてさいていりる  
 水色のほり

夏がくれば思い出す  
 霧の中に浮びくろ  
 水芭蕉の花がささいい影  
 夢みてさいていりる  
 水色のほり

夏がくれば思い出す  
 霧の中に浮びくろ  
 水芭蕉の花がささいい影  
 夢みてさいていりる  
 水色のほり



# B.S. 6月のプログラム

8日	隊集会	9:00A.M.~11:30A.M. 於 九品仏浄真寺
15日	班集会	
21日	土	グリーンバー会議 7:00P.M.~9:00P.M. 子供の家
22日	隊集会	9:00A.M.~11:30A.M. 於 九品仏浄真寺
29日	隊集会	9:00A.M.~11:30A.M. 於 九品仏浄真寺

## ♡ B.S 5月の動向 ♡

◎ 班キャンプ  
5月3日~5日

- ホワイトベア 奥多摩 神戸岩
- インディアン 五日市 盆塚川 4名参加
- 流星 五日市 方面 5名参加

5月18日 C.Sと共に 交通安全週間にあやみ、  
駒沢交差点で横断の指導をしました。

## 『 B.P.の言葉 』

技能章をもらう資格があるかどうかを決める唯一の規準は、その少年がその勉強のためにした努力の量である。

(E.K. ウェイドによる B.P.と共に歩んだ27年より...)

# C.S. 6月のプログラム

8日	組集会	14:00 ~ 15:30 野草採集 九品仏浄真寺集合
15日	親子ピクニック	8:00 ~ 17:00 「観音崎シーサイド」
22日	家庭組集会	健康測定 筆記用具持参
29日	月例隊集会	14:00 ~ 16:00 看護 御両親いづれか必ず出席 <small>ほしい</small>

今月のテーマ 元気な子!

## 今月のプロより

6月15日 親子ハイキング 九品仏8時集合 17時解散  
観音崎シーサイド



持物：御弁当、水筒、お菓子少々  
ビニール風呂敷、タオル

御家族で御参加下さい。 ◎ 雨天中止

### 組長会議

6月15日 隊長宅

16:30 ~ 17:15

### 5月の動き

8日(日) 交通安全奉仕。ちょうど交通安全週間の期間だったので駒沢の交差点で横断の指導を行いました。

11日のハイキング、25日の野草採集は雨のための延期となりました。

五月三日↓五時30分に尾山台に集合して、(電車  
で五日市まで行き、そこからバスに乗って、(電車  
戸橋と云う所まで行った。そしてキャンピング地  
まで歩いた。荷物は軽い。キャンピング地についた  
るのどても痛かった。キャンプ地についた。  
少し休けいしてすぐ冷蔵庫が始まった。  
テント、食料、テント、冷蔵庫、便所、などを作  
った。冷蔵庫をどのよつにして作るのかと思  
つて手伝つてゐると、小川をせき止めて作つ  
た。設備が終り、昼食、そして夕食が出来た。僕  
の好きなかしーライスタ。とてもおいしかつ  
た。食べたあと、食器の油を落とすのに、と  
ても苦労した。  
四日↓僕が目ささまして、すぐ起床だ。朝食  
を食べて散歩に出かけた。小川を登り、登つ  
た所で声を叫ぶと、山びこが返つて来た。  
あ、という間に時が過ぎて夕食が出来た。夕  
食は元ポリースカウトの守都君の友だち2人  
をまじえて食べた。食べ物も種類が多いで  
なくさん食べられた。營火もいっしょにやり  
にぎやかに話し合つた。けれど、ミーティング  
が待ちうけていて、いろいろとふざけた。なまけ  
たことを注意された。両親が恋しくなつた。  
五日↓このキャンプ地とお別れだ。さびしい  
気持ちになつたが、両親に会えると思つた。その  
くらい平気だつた。五日市、溝の口と尾山台に  
近づき、12時45分に解散した。

少年隊 キャンピング班

ぼくたち、ホワイトベア班は、五月の三、  
四、五日と、キャンピングに出かけた。  
目的地は、神戸岩川。そこは、さうして、  
大きな岩がそびえて、川は、さうして、  
ところどころに木がはえて、いる所など、  
なんともいえない、美しく、さうである。  
キャンピングをした所は、川の岸で、よく日の  
照る所でもあった。そのためか、何日も  
川の中に、入つたり、よくひるぬをした。  
少しみだれて、いたようにも思える。食事は  
割合うまくできたが、一回だけ、ご飯を  
こがして、しまひ、二か、三か、四か、  
夜になると、星が、きれいで、二日目の夜など  
二十、三十、も、星を、な、か、め、て、いた。キャンピング  
ア、イ、ヤ、ー、は、五、分、で、終、つ、て、しま、つ、た。  
それは、ま、き、を、入、れ、す、ぎ、で、す、ぐ、に、も、え、こ、し  
ま、つ、た、か、ら、で、リ、ン、グ、一、曲、で、終、つ、て、しま、つ、た。  
その、か、り、リ、ン、グ、を、岩、に、立、つ、て、火  
をつ、け、キャンピング、ファイヤ、ー、の、か、り、に、し  
た。これは、初、め、だ。こん、ど、の、キャンピングは、割合  
た、ん、だ、つ、た、と、思、つ、た。こん、ど、か、ら、は、ピ、ン、ク、と  
やり、たい、と、思、つ、た。また、新、入、隊、員、の、見、本、に、なる、よ  
う、に、心、が、け、たい。



# 団情報

## 団委員会より

今までの田の慶弔金について、明確な規定がなかったため、それを統一する為、田委員会に於いて明確な規定が設けられました。今度の規定では、その訂称を本人、御父兄、兄弟等とし、場合合によつてある程度の弾力性をもちますようにしてあります。

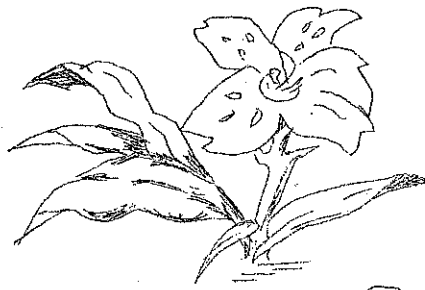
## B・S 指導者講習会

吉田谷地区少年部指導者講習会が六月十四日より十八日まで、泊を入れた五日間、吉田谷区立小字校で行われ、我が団からは三井年長隊々長、吉田年長隊々員が参加する予定です。



## 詩

ほんとうの子供たちの日々、  
 物知りでもなく、善良過ぎず、  
 愛と憎しみに心から一喜一憂し、  
 へりくつには、どうも不安で、  
 荒々しく、謙遜で、辛抱よく、  
 冒険すきを、しては、苦しみ、  
 まぢないを、疑いや、恐怖、  
 痛苦や、疑いや、恐怖、  
 人生の重み、にあって、  
 幸福の中、にあつても、  
 身体と心の、この上ない、  
 それら二つが、彼らの心を、  
 日々に、力が、けるものであつて、  
 本と自然が、彼らの若日の、  
 そうして、よさしく、その名に、  
 彼らの生きる力の喪失、  
 買ひ込まれたものでは、  
 ない知識が、



## 編集後記

(ワーズワース「プレルド」より)

やがて本格的な梅雨が始まり、  
 そして合営、野営の準備が始まり、  
 ります。身体と心の準備もお忘れな  
 さい。

今川 橋本 南雲 小屋 尾平